

■コメント

1. インフルエンザ

定点当たり8.14人と、6週連続して減少し、注意報レベル(定点当たり10人)を下回りました。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は、第12週は報告がありませんでした。

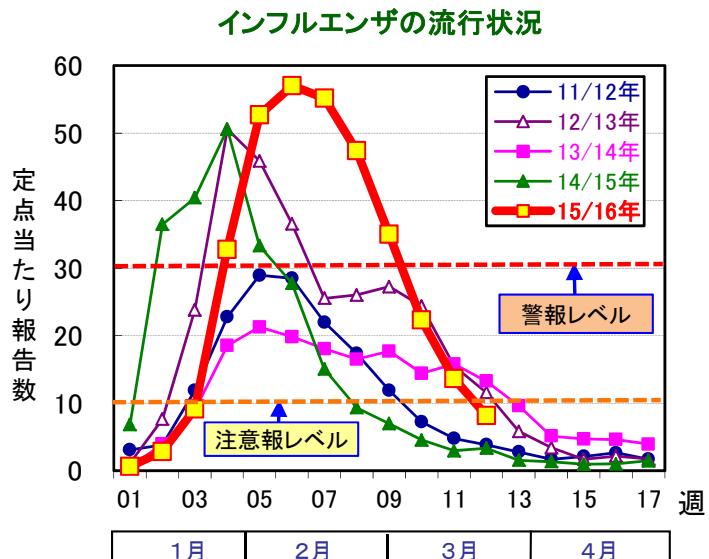
なお、第12週の市内の基幹病院2か所(インフルエンザ定点ではない)による迅速診断キット検査結果では、A型陽性が68人、B型陽性が105人報告されています。

春休み中は、混雑する場所へ出かけるなど、感染機会が増えると考えられます。引き続き、手洗い・うがいの励行、咳エチケットなど感染予防対策を心がけましょう。

2. 感染性胃腸炎

小児科定点からの感染性胃腸炎の報告数は定点当たり8.58人と、前週とほぼ同程度で推移しています。

なお、基幹定点からのロタウイルスによる感染性胃腸炎は15人の報告がありました。(次頁参照)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平週平均(5年間)	発生記号
小児科	インフルエンザ	301	8.14	9.83	△
	咽頭結膜熱	6	0.25	0.34	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	42	1.75	1.82	□
	感染性胃腸炎	206	8.58	8.86	□
	水痘	8	0.33	0.93	
	手足口病	5	0.21	0.24	
	伝染性紅斑	16	0.67	0.12	△
	突発性発しん	7	0.29	0.38	
	百日咳	2	0.08	0.03	
	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.03	

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平週平均(5年間)	発生記号
基幹	流行性耳下腺炎	13	0.54	0.49	
	RSウイルス感染症	1	0.04	0.15	
	急性出血性結膜炎	—	—	0.05	
	流行性角結膜炎	2	0.25	0.43	
	細菌性髄膜炎	—	—	—	
	無菌性髄膜炎	—	—	—	
	マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.11	
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	—	—	—	
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	15	2.14	—	△

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	□	□	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	41	男性(60歳代)・1人、女性(70歳代)・1人
5	梅毒	1	5	女性(20歳代)

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフルエンザ	咽頭結膜熱	球菌溶血性咽頭炎	A群溶血性胃腸炎	感染性水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性結膜炎	無菌性結膜炎	マイコプラズマ	クラミジア肺炎	(口タウイルス)	
報告数	広島市	第8週	1,755	3	84	201	6	—	33	5	1	5	17	3	—	3	—	—	1	—	15
		第9週	1,296	4	73	244	10	1	40	10	—	4	9	3	—	5	—	—	3	—	22
		第10週	826	3	63	231	8	—	32	7	—	2	21	3	—	4	—	—	2	—	14
		第11週	491	2	52	205	6	2	25	5	—	5	10	4	—	3	—	1	—	—	21
		第12週	301	6	42	206	8	5	16	7	2	1	13	1	—	2	—	—	1	—	15
定点当たり	広島市	第8週	47.43	0.13	3.50	8.38	0.25	—	1.38	0.21	0.04	0.21	0.71	0.13	—	0.38	—	—	0.14	—	2.14
		第9週	35.03	0.17	3.04	10.17	0.42	0.04	1.67	0.42	—	0.17	0.38	0.13	—	0.63	—	—	0.43	—	3.14
		第10週	22.32	0.13	2.63	9.63	0.33	—	1.33	0.29	—	0.08	0.88	0.13	—	0.50	—	—	0.29	—	2.00
		第11週	13.64	0.09	2.26	8.91	0.26	0.09	1.09	0.22	—	0.22	0.43	0.17	—	0.38	—	0.14	—	—	3.00
		第12週	8.14	0.25	1.75	8.58	0.33	0.21	0.67	0.29	0.08	0.04	0.54	0.04	—	0.25	—	—	0.14	—	2.14
全国		第10週	28.20	0.28	2.82	6.27	0.32	0.02	0.42	0.36	0.01	0.01	0.86	0.28	0.02	0.57	0.01	0.04	0.50	0.02	0.57
		第11週	21.13	0.29	2.71	5.95	0.33	0.02	0.42	0.36	0.01	0.02	0.79	0.25	0.01	0.46	0.01	0.04	0.44	0.02	0.56

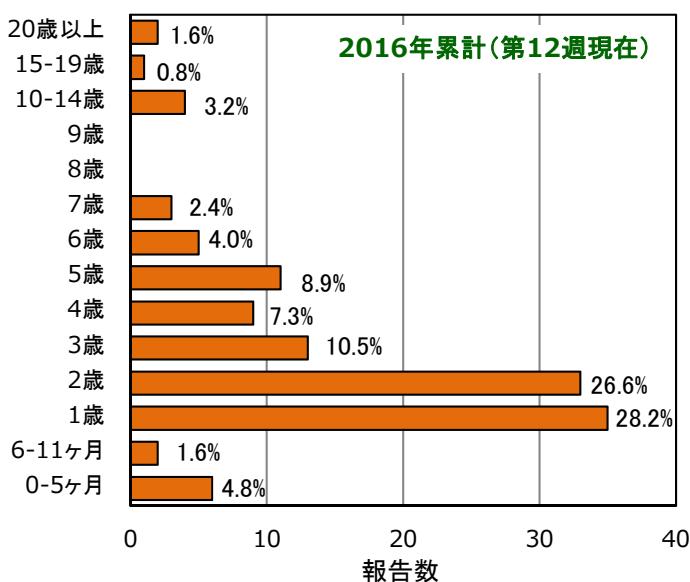
■新たに判明した病原体検出状況

(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
その他の呼吸器疾患	発熱(38.1) 咽頭炎	2	女	2016/02/21	咽頭拭い液	コクサッキーウィルスA4型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市における基幹定点からの感染性胃腸炎(ロタウイルス)年齢階層別報告数



ロタウイルスは乳幼児におけるウイルス性胃腸炎の主要な原因であり、感染すると2~4日の潜伏期間の後、下痢や嘔吐、発熱などの症状を引き起します。例年3月から5月頃に乳幼児を中心にロタウイルスによる感染性胃腸炎の流行が起こりますが、今年は例年より報告数が多くなっており、注意が必要です。

市内の基幹定点7か所からの感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)の患者の年齢は、1歳(28.2%)、2歳(26.6%)、3歳(10.5%)、5歳(8.9%)の順に多く、1~5歳で全体の8割を占めています。

感染を広げないようにするには、オムツの適切な処理、手洗いの徹底などが重要です。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じことがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp